

医療法人弘英会
琵琶湖大橋病院

2024.10

秋号

vol.9

Biwako Ohashi Hospital

患者さまに笑顔をお届けする
琵琶湖大橋病院 広報誌

えごころ

笑
心



【特集】成安造形大学と

未来を創る新しい取り組み

TAKE FREE

広報誌「笑心」について
ご意見、ご要望をお聞かせください
▽アンケートフォームはこちら



成安造形大学の学生と未来エンジン工場のメンバーで素晴らしいアイデアがたくさん出ました！

ワークショップから導き出した 課題解決への3つのプロジェクト



年内
公開予定



琵琶湖大橋病院
事務統括部
北川 仁大

1 メディカルラジオ

医療・介護の将来を担う
若者に向けて
生の声を届ける



大学ラジオでMC経験のある学生のアイデアから生まれた、地域の高校生をターゲットとしたラジオ番組。職員をゲストに招き、若者が関心を持ちやすいテーマや職員のキャリアに焦点を当て、学生MCが鋭く切り込みます。医療・介護業界で働く人の生の声を届けることで、地域の未来を担う若者にアプローチし、進路やキャリアの選択に活かしていただくことが目的です。



琵琶湖大橋病院
地域連携課
林田 龍夕

2 ボトルライトフェスティバル

この地域で
自分らしく生きるための
きっかけ作り



ご利用者様と職員、学生、地域の方々で協力して1,000個のボトルライトを作成。施設の駐車場や外観に飾り付け、イルミネーションスポットとして開放する「ボトルライトフェスティバル」を開催します。介護施設をもっと身近に感じていただけるよう、アートによって地域の皆様の楽しみ、場を創設しご利用者様の地域参加と、職員のやりがい高めることを目的としたイベントです。



湖の産
渡邊 将平

3 コイガイマルシェ

地域の皆様の
つながりの場を
提供するイベント



「アート×医療・介護」をテーマにしたマルシェを開催。地域のお店や成安造形大学の学生による飲食ブース、次世代のアーティストである学生たちのアート作品を展示するギャラリーブース、入居者様がサービスを提供するカフェブース、気軽にプロのアドバイスを受けられる介護相談ブースなどを通して、地域のみなさまのつながりの場を提供するイベントです。



成安造形大学
研究・連携支援課
未来社会デザイン共創機構
宮崎 瑛圭

**アートという
コミュニケーションツールで
地域の未来をつなぐ**

医療・介護を身近に感じてもらうべく、皆さんのアイデアをもとに、医療現場で働く人の声を届ける『メディカルラジオ』が、ご利用者様と職員、地域の方々との共同作品を作り近隣住民に足を運んでもらう「ボトルライトフェスティバル」、地域住民のつながりの場を提供する『コイガイマルシェ』と、「人」「場所」「体験」に軸を置いた3つのプロジェクトを提案しました。ラジオ番組は年内公開を予定しており、他2つのプロジェクトも今年度内に実現を目指しています。ワークショップに参加した学生からは、「アートというコミュニケーションを通して新しい相乗効果が生まれるという、芸大らしいアプローチができた」といった感想をいただくことができました。

アートと医療・介護という、これまで交わることのなかった領域同士のコラボレーションから生まれる未知の可能性や、医療・介護業界がアートを学ぶ学生たちの新たなキャリアの選択肢を広げるきっかけになるなど、非常に意義のある取り組みとなりました。

弘英会では今回のワークショップや広報誌の制作、未来エンジン工場の発足など、より良い地域づくりや皆様とのつながり、職員のやりがい向上に向け様々なプロジェクトに着手し、少しずつ形になってきています。



病院広報アワード2024 広報誌部門 優秀賞

CBnews主催 病院広報アワード2024にて
当法人広報誌『笑心』が、広報誌部門で優秀賞をいただきました！

当法人の小椋香葉子専務理事が未来に向けての取り組みとして提案し、令和4年に創刊した当法人広報誌『笑心』は、今回でおかげさまで9回目の発行になりました。この度優れた病院広報を表彰するCBnews主催『病院広報アワード』にエント

リーし、広報誌部門では74の病院から、当法人広報誌『笑心』は優秀賞をいただくことができました。これからは皆様に楽しんでいただける広報誌を発行できるよう努力して参ります。今後ともご協力よろしくお願いいたします。



医療法人弘英会×成安造形大学 共創プロジェクト

アートで照らす医療と介護の 未来ワークショップ

医療と介護現場の課題に新たな解決策を提案するために
「未来エンジン工場」と成安造形大学の学生がコラボして、
未来に向けたワークショップを行いました。

未来エンジン工場
新プロジェクト



学生と職員が2日間にわたり
取り組んだ未来への
本気のディスカッション

医療・介護のイメージを
アートの力でポジティブに！

昨年発足した「未来エンジン工場」は、弘英会の若手職員を中心としたメンバーによる、弘英会や地域全体の課題に対して解決策を模索し、理事會に提案するプロジェクト。今年の7月から第二期に突入しました。そのなかで、「地域包括ケアシステム」チームが昨年度から継続的に取り組んできた成安造形大学との共創プロジェクトのワークショップ「アートで照らす医療と介護の未来ワークショップ」が、令和6年4月20日・21日の2日間にわたって行われました。

このプロジェクトは、医療と介護に対する新しいアプローチを模索し、医療・介護現場のイメージ改善と地域包括ケアシステムの推進が目的です。「病院は怪我や病気をしたら行くところ」「介護は日常生活を送ることができなくなった人が受けるもの」など、ネガティブに捉えられがちな医療・介護に対し、ポジティブに捉えていただけようPRの方法はないか。そんな課題を解決する手段として、「アート」と「医療・介護」という全く異なる領域同士のコラボレーションが実現しました。



医療・介護業界をいかにポジティブに捉えてもらうか
学生と職員が本音で意見を交わしました

ワークショップに参加したのは、「地域包括ケアシステム」チームの職員5名と、アートによる社会的処方や医療・現場に関心のある成安造形大学の学生6名です。3つのチームに分かれて実際の医療・介護の現場を見学し、職員が日々どのような仕事をしているのかについて学生たちに理解を深めていただいたあと、それぞれの視点から見た医療・介護現場の魅力、課題、検討ポイントを書き出しました。その数はなんと100以上！

たくさん「気づき」のなかから見えてきたのは、医療・介護現場での人材不足。単なる人手不足にとどまらず、近い将来、地域の医療・介護を必要としている方々を支えていけなくなるという地域全体が抱える深刻な課題について共通認識が生まれました。

ワークショップに参加したのは、

弘英会グループ 医師・職員紹介

弘英会グループでは、たくさんの方の医師や職員が活躍しています！今回ご紹介するのは、整形外科の川南先生と、看護部の平井さんです！

医師 川南 芙美 先生

整形外科

仕事と家族と旅とお酒を愛する

整形外科医です

皆様こんにちは。琵琶湖大橋病院にお世話になり3年が経過しました。火曜・木曜の外来診察では患者様に長時間お待ちいただくことも多く、大変申し訳ありません。



私が医師を目指したのは、人間の生命に関わる仕事が純粋にかっこいいなと思ったからです。『ブラックジャック』や『ドクターX』など、魔法のように人命を救う医者に憧れていました。医学部で勉強するにつれて、生命回復よりも機能回復に興味を持ち、整形外科を選択しました。痛みで歩けなかった患者様が手術後に回復し、笑顔になっていくのを見ると、医師になって良かったと心底感じます。まだまだ未熟ですが、手術室のスタッフ、麻酔科の先生、同僚の先生などのチーム一丸となって最後までやり遂げる手術が大好きであり、やりがいを感じております。

職場では家庭を理由にご無理を申し上げることも多々あり、身も毎日の晩酌が生き甲斐で、「今日も頑張った」と自分で自分を褒めながら、なんとか仕事と家庭を両立しております。

当院は津市北部の中核病院として地域医療に取り組んでおり、患者様との距離が近く小回りの効いた診療が可能です。その中でも、患者様に一定レベル以上の診療をわかりやすく行うことが私の使命です。

プロフィール

出身 大学：奈良県立医科大学

免許取得年：平成19年

専門 領域：一般整形

認定 資格：整形外科専門医

職員

平井 祐子

看護部

子供のおかげで素晴らしい職業に出会えました

3B病棟は主に透析患者様が入院されており、看護師をはじめ多職種と協力しながら日常生活のケアを提供し、患者様の一番身近な存在になれるよう明るく笑顔で、患者様の気持ちに寄り添いながらのコミュニケーションを心がけています。

この仕事をはじめたきっかけは、介護職で生活の基盤を整え、子供に好きなことを思いっきりさせてあげたいという思いからでした。初めは務まるか不安でしたが、患者様と楽しく会話したり感謝の言葉をいただくいたりするうちにやりがいを感じることができるようになりました。介護の知識を

部署紹介 看護部

平井さんの所属する看護部をご紹介します！

3B病棟は人間関係が良好で明るく元気なスタッフが、いつも笑顔で溢れています。透析治療の患者様が多くの病室透析と外来透析が行えるよう日ごろから透析センターとの連携を密に取っています。慢性疾患は完治することは難しく、一生付き合っていくかといけな病気なので、患者様の進行を遅らせたり、調子の良い日が1日でも増えるよう、患者様の小さな変化に気付くことのできるケアを心がけています。

看護部3B病棟のメンバーです！

看護助手 伏木美希
看護職リーダー 平井祐子
看護助手 小澤聡美



看護部副部長 兼 3B病棟課長 加藤敦

3B病棟主任 吉野英子

プロフィール

役 職：3B病棟看護職リーダー

出身 校：大津商業高等学校

資 格：介護福祉士

資格取得年：令和5年



地域で暮らす皆様の「つながり」が生まれる場所

緑の癒は、地域に開かれた施設を目指しています。健康寿命延伸、住みよいまちづくりを目的として、地域住民の皆様が集いの場を提供しています。今回は毎月開催している「いちご会」の「グリーンカフェ」をご紹介します。



緑の癒 施設長 中川智之



リラックスできる空間で新たなつながりも生まれます

地域から孤立する方をなくしたい。地域の皆様が「つながり」を持って、住み慣れた地域でいつまでも健康に暮らしていただきたいの思いから、地域の方々と弘英会を繋ぐホットライン「いちご会」を発足。その活動の一環として、緑の癒1階のラウンジで毎月第4日曜日の午前10時から12時で「グリーンカフェ」を開催しています。堅田にある『菓子工房n』さんの美味しいスイーツと豆から挽いた香り高いコーヒーのドリンクセット(500円)を提供しています。

ラウンジスペースを活用し人と人をつなげる

緑の癒は、びわ湖ローズタウン内の大津市緑町という閑静な住宅地にある複合介護施設です。従来の介護施設からの脱却を目指し、リゾートホテルをコンセプトとしたスタイリッシュで快適な住空間と心のこもったホスピタリティで皆様をお迎えしています。

ホテルのような快適空間と心を込めたおもてなし

ボランティアの皆様がスタッフとして活躍中

カフェスタッフとして活躍するのは、近隣にお住まいの「いちご会ボランティア」の皆様。少しずつ地域の皆様に知っていただくようになり、徐々に参加者が増加。常連の方や施設のご入居者様、ご家族様などたくさんの方で毎回賑わっており、この地域に住む方同士の新たな「つながり」が生まれています。

社会とのつながりを持つことで健康寿命を延ばすことが立証されているため、今後もしいるるな形でご入居者様や地域の皆様がつながれる場を提供し、地域の健康寿命延伸、住みよいまちづくりに貢献できる施設運営を進めていきたいと考えています。グリーンカフェはお子様からお年寄りまでどんな方でも大歓迎です。ぜひお気軽にご参加ください。



「いちご会ボランティア」 左から林さん、北岡さん、宮崎さん

ドリンクセット 500円で提供しています

医療法人弘英会 いちご会
一期一会のご縁を大切に地域の皆さまと医療法人弘英会を繋ぐホットラインです。
いちご会 ホームページはこちら→

緑の癒

緑の癒は、1階にグループホーム(2ユニット18室)、2階にサービス付き高齢者向け住宅(27室うちご夫婦部屋1室)を有し、訪問介護事業所も併設する複合介護施設です。

主な特徴

- 琵琶湖大橋病院の全面的なバックアップ体制があり、健康に不安がある方も安心してご入居いただけます。
- グループホームでは広々としたゆとりのある空間で、穏やかで温かみのある認知症ケアに取り組んでいます。
- サービス付き高齢者向け住宅では看護師を24時間配置し医療面も安心。厨房長とベテラン主婦スタッフによる手作りのお食事自慢です。



緑の癒

〒520-0221
滋賀県大津市緑町6番27号
TEL.077-536-5733

緑の癒 ホームページはこちら！



グループホーム



サービス付き高齢者向け住宅

介護情報に関するご案内

HP、SNSも是非ご覧ください！

介護サービスの詳細はHPよりご覧いただけます



ホームページ

各介護施設のお知らせなどはこちら！



Instagram



10年以上前になりますが、知り合いから「津・堅田の歴史」についての講演会があると誘われて参加しました。そこで聞いたことは、今まで学校で習ったことや自分が知っていた解釈と違って、驚いたのと同時に、津の歴史に大変興味を持ちました。特に戦国時代の変化の激しい歴史を知りたいと思いい、博物館で開催される特別展や企画展があると、県外でも足を運ぶようになりました。

私のマイブーム

オフの時、なにしている？

えられていたことが改められており、当時の津地域がどのように変化してきたかを知ることができ大変興味深かったです。さらに知識を深めたいと、今後の講演について情報収集しているところです。次が待ち遠しい思いです。



私の休日をご紹介します！

ウィズ・ハート 居宅介護支援事業所 介護支援専門員 安陪 博樹

ご利用者の一番近い存在として、その人らしい暮らしや生活の質が向上できるように日々取り組んでいます。



Q 私はこんな人！

在宅介護事業所で経験を積みながら介護支援専門員の資格を取得し、居宅介護支援事業所に勤務するようになってから気が付けば20年以上になりました。入職時から変わらず、少しでもご利用者様のお役に立てるように仕事に取り組んでいます。

秋こそ眠りで健康に！睡眠の質を向上させよう！

秋は日照時間が短くなり、寒暖差が大きくなる季節。体に負担がかかりやすいこの時期は、質の良い睡眠を心がけることが重要です。睡眠は心身の健康を支える基盤です。質の良い睡眠は免疫力の向上や精神的安定、認知機能の維持に繋がる一方で、睡眠不足や睡眠の質が低いと心身が不調になりやすく、高齢者は認知症のリスクが高まる傾向があります。秋の夜を快適に過ごし健康を確保できるよう、睡眠の質を向上させるポイントをご紹介します。

睡眠の質を向上させるポイント

1. 毎日同じ時間に寝起きする

規則正しい生活リズムは、体内時間を整え、自然な眠りを促します。日中に太陽の光を浴びることで、メラトニンの生成が促進され、夜の眠気が高まります。



2. 快適な睡眠環境を整える

秋は夜間の気温が下がるため、暖かい寝具を用意し、部屋を適度に暗く静かに保つことが重要です。

3. 就寝の1時間前にはスマートフォンやテレビを終了する

就寝前の1時間をリラックスタイムにあて、スマートフォンやテレビから離れて、読書や軽いストレッチを行うことをお勧めします。これにより、心と体がリフレッシュされ、眠りやすくなります。

4. 就寝数時間前にはカフェインやアルコール摂取を控える

食事にも注意が必要です。カフェインやアルコールは睡眠を妨げるため就寝数時間前には摂取を控えましょう。



今回の担当は...

理学療法士 古谷 俊也
明るく前向き！「患者さんを笑顔に出来るように」がモットーです。

作業療法士 成瀬 拓也
ご本人様とご家族様がいきいきと生活出来るようサポートします。

言語聴覚士 宗 麻里子
健康、グイェットのためにウォーキングを始めて3か月が経ちました。



理学療法士 川島 祐貴
患者様の思いに寄り添ったリハビリを行うよう心がけています。

理学療法士 西岡 真依
何事にも笑顔で丁寧な対応を心がけています。

北島酒造

琵琶湖大橋病院 リハビリテーション科 言語聴覚士

三好 茉莉花

嚥下障害の方のリハビリをすることが多いです。ふとしたきっかけで患者様の食のスイッチが見つかるかと嬉しく思います。

Q 私はこんな人！

おいしいごはんとお蕎麦に目がありません。たくさん食べるので燃費が悪いと言われるます。



ACCESS JR甲西駅南口より徒歩8分

「塩ゆず酒」と酒蔵めぐりて買える「今だけこだけ」。「むわこのくら」という普通酒も好きです。

酒蔵めぐりて訪れた北島酒造さん。月ごとに店頭には並まない日本酒を量り売りされています。



弘英会のスタッフが滋賀のオススメスポットやお店をご紹介します。ぜひ足を運んでみてください！

私だけの 滋賀バシヨ



GO! フレッシュチャーズ

作業療法士 西田 矢真人 22歳 大津市朝日出身

中学時代に野球部に所属し、チームを支える役割を担う機会が多かったことをきっかけに、将来は人を支えていけるような仕事に就きたいと考えました。調べていくと怪我や病気だけでなく、趣味や生きがいなど、その人の人生を幅広く支えることのできる作業療法士



Q 私はこんな人！

私はよく接しやすく話しやすいと言われる。休日は音楽鑑賞や映画鑑賞を過ごしています。

という仕事があることを知りました。大学で作業療法について学んでいくうちに、人を支えることの難しさやこの仕事の奥深さ、他職種との連携により患者様をより良い環境、生活へと繋げることができると気づくことができました。琵琶湖大橋病院に入職した今、この仕事にとってもやりがいを感じています。まだまだ発展途上ですが、より多くの人を支えられるように精一杯精進していきたいと思ひます。

豊富な食物繊維で便秘予防

ほっこりと甘いさつまいもの主成分はでんぷんで、加熱によって一部が糖質に変わり甘味が増します。主食代わりになるうえに、食物繊維やビタミンC、E、カリウムなどを豊富に含んでいることが特徴。カロテンも含まれており、安納芋などのオレンジ色の品種では、その含有量は緑黄色野菜をしのぎます。切ると出てくる白い液は、ヤラピンという樹脂の一種。腸のぜん動運動を促進する働きがあり、豊富に含まれる食物繊維との相乗効果で、お腹のなかをきれいにしてくれます。皮の色が鮮やかで艶があり、なめらかなもの、ひげ根の少ないものを選ぶときのポイントです。

秋のおすすめ食材 さつまいも



主な栄養素 食物繊維、ビタミンC、E、カリウム

おすすめの食べ方

さつまいもにはビタミンCやEが含まれています。ビタミンC・Eには抗酸化作用があり、アンチエイジング効果や動脈硬化予防が期待される栄養素です。

栄養科直伝！旬の食材やおすすめの食べ方をご紹介します。今回は、食物繊維たっぷり「さつまいも」です。

旬の食材! えいよう道場



Q 私はこんな人！

私の長所は「聞き上手」！患者様の思いに寄り添えるよう心がけています。

今回の担当者 琵琶湖大橋病院 栄養科

中畑朝香

主に入院・外来の患者様の栄養指導および栄養管理、栄養科内の衛生管理を行っています。患者様と関わる中で「美味しい」と笑顔になった姿を見ることができたときにやりがいを感じます。



BOH パートナークリニック

琵琶湖大橋病院と連携している
 医院や診療所をご紹介します！



外科・内科・皮膚科・肛門科・麻酔科・放射線科・リハビリテーション科・老年内科・循環器内科

青木医院 (大津市和邇高城)

青木医院は、平成5年に前理事長青木裕彦先生により開設されました。その後、医療法人湖青会として在宅療養を支援するとともに、多様なニーズに対応できるよう介護老人保健施設、訪問看護ステーション、グループホーム、ヘルパーステーション、デイサービスセンター、居宅介護支援センターなどを開設し現在17施設を有しています。私は令和3年7月より理事長職を継承し、「私たちは

お一人おひとりのご利用者に福祉・介護・医療の総合サービスを提供することにより“笑顔のある暮らし”が実現できるようお手伝いすることで社会貢献します。」という当法人の理念のもと働いています。内科系を私と山本和正先生が、外科系を青木裕彦先生が担当し、それぞれの専門性を発揮しながらあらゆる疾患に対応できるようにしています。

院長 井上徹也



青木医院

滋賀県大津市和邇高城260番地1
 ※駐車場あり
 TEL:077-594-4018

【クリニック診察時間】

| 診療時間 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日・祝 |
|-------------|---|---|---|---|---|---|-----|
| 09:00~12:00 | ● | ● | ● | △ | ● | ● | △ |
| 16:30~18:00 | ● | △ | ● | △ | ● | △ | △ |

【休診日】

火曜日・土曜日の午後、
 木曜日・日曜日・祝日

2022年、成安造形大学の母体である京都成安学園は100周年を迎えました。これを記念し、大学内に多数のアート作品が常設されました。さらに、学内にギャラリーが点在する回遊式美術館「キャンパスが美術館」で

成安造形大学は、大津市仰木にある滋賀県唯一の美術大学です。湖西の美しい自然に囲まれたキャンパスで、「芸術による社会への貢献」を教育理念とし、創造力を育む教育を提供しています。美術、デザイン、映像、建築など多彩な領域を学べることに加え、少人数制によるきめ細やかな指導が特徴です。

湖西の美しい自然に囲まれた 滋賀県唯一の美術大学です



聞いてほしい！
地域自慢



成安造形大学
 〒520-0248 滋賀県大津市仰木の里東4-3-1
 TEL▷077-574-2111(代表)
<https://www.seian.ac.jp/>

成安造形大学は、創造性を育む教育機関であると同時に、地域とのつながりを大切にし、共に歩んでいくことを目指しています。

また、「近江学研究所」という附属研究機関を有し、滋賀の伝統と魅力を探求しています。活動に広く参加していただく目的で、「近江学フォーラム」を設立し、会員限定の講座に加えて一般の方もご参加いただける公開講座や写生会などを開催しています。滋賀の歴史や文化に関心のある方はぜひご参加ください。

は、学生や教員・卒業生の作品展示のほか、国内外で活躍する作家を招いた企画展も行われ、文化交流の場として広く親しまれています。琵琶湖が望める芝生広場には学生や地域に開かれたコミュニティスペース「結」があり、一般の方も食事が楽しめるカフェテリアやパン工房が併設され、アートに触れながらくつろげる空間を提供しています。

一般外来診療のご案内(ご予約のされていない方)

各診療科の診療日・担当医については、
 当院までお問合せください。

TEL **077-573-4321**

詳細は当院ホームページでもご確認いただけます。

琵琶湖大橋病院

検索

<https://boh.or.jp/>

かかりつけ医がある方は紹介状をお持ちください

医療法人 弘英会
琵琶湖大橋病院
 公財)日本医療機能評価機構認定病院

〒520-0232
 滋賀県大津市真野五丁目1番29号



ホームページ

病院の
 詳細は
 こちら！



公式LINE

スマホでも
 広報誌が
 閲覧できます！



Instagram

病院の日常を
 発信して
 います！

広報誌「笑心」、次回は冬発行予定です。
 笑心では、BOHのファンづくりを目指して、様々な施設や取り組み、働く職員などを紹介していきます！ぜひお楽しみに！